

回覧

～アフリカの人たちに、日本語を教えました～

“おもてなし”

テランガの国 セネガル

令和5年

3

18(土)

14:00～16:00

くぼやま
講師 久保山 三香代 氏

会場 茂原市役所 市民室

対象 一般

主催 茂原市国際交流協会



お申し込み 申込フォーム、電話、FAX、メールでお申し込みください。

定員 100名(申込順)※定員になり次第、締め切ります。

お申し込み・お問い合わせ先

茂原市国際交流協会事務局(茂原市役所4階 企画政策課)

TEL 0475-20-1651 FAX 0475-20-1603

Email kikaku2@city.mobara.chiba.jp



申込フォームはこちら

参加費
無料

くぼやま みかよ
講師紹介 久保山 三香代 氏

昭和 62 年 4 月～ 沼南町立（現・柏市立）高柳中学校を皮切りに、学校事務職員として勤める。

そのころから海外旅行が好きで、あちこちに出かけた。
しばらくして貧乏一人旅にはまり、休みごとに放浪の旅に出る。

いつかは海外で何かやりたいと思い、また旅先で「日本語を教えて」と言われ、うまく教えることができず、歯がゆい思いをしていた。
そんなこともあり、日本語教師の道を目指すことを決意。2006 年 4 月より夜間の日本語教師養成講座に通い始める。

2007 年 3 月に上記講座を修了し、4 月より松戸市国際交流協会の日本語ボランティア会で日本語を教え始める。また、長期休業中はインドネシアの日本語学校で教壇に立つ。

2008 年 4 月、自己啓発休業の施行と同時に、JICA 青年海外協力隊の応募を決意。同年 8 月、西アフリカのセネガルへ派遣が決定し、自己啓発休業を取得し、20 年 4 次隊として 2009 年 3 月、セネガルへ旅立つ。

セネガルでは、高等専門学校の言語科の第二外国語として、フランス語圏からの留学生に日本語を教えた。日本語教師は 1 人だったので、生徒募集、面接、クラス分け、シラバス作成、授業日程作成など幅広く活動した。また日本語の学習者を広く受け入れ、社会人クラスや子どもクラスなども行った。「日本祭り」や「日本語スピーチコンクール」なども企画立案し行った。

2 年後の 2011 年 3 月 22 日帰国。同年 4 月 1 日より松戸市の中学校事務へ現職復帰。同年 9 月より日本語ボランティアを再開し、松戸市国際文化大使を委嘱され、現在に至る。



茂原市国際交流協会とは

市民一人ひとりが国際交流を身近なものとしてとらえることができるよう、外国語会話教室、ホームステイなどの各分野における国際交流活動を行うとともに、在住外国人及び外国にルーツのある方のための各種情報提供に努め、日本語指導をはじめとする生活支援事業を行い、お互いの価値観や文化を尊重しあいながら共生し、安心して暮らしていくことができる多文化共生社会の実現に寄与するため、茂原市内で国際交流や多文化共生ボランティア活動を行っている団体が協力し、茂原市国際交流協会が設立されました。

**当協会では、一緒に活動して下さる会員を随時募集しています。
お気軽にお問い合わせください。**